

浜松湖北高校・伊東商業高校がオンラインで交流会をしました

「新たなものづくり 日々追求」

企業の魅力 取材で知る

LPガス販売「エネジン」（浜松市中区）と連携し、地域活性化に取り組んでいる北区の浜松湖北高校と伊東市の伊東商業高校の生徒が十四日、本年度の取り組みを報告する交流会をオンラインで開いた。互いの発表を通して、工業が盛んな浜松と観光業が盛んな伊東との個性の違いについて理解を深めた。
（小佐野慧太）

湖北高の生徒は二〇一七年から地元企業を取材し、エネジンのブログサイ

浜松湖北高生徒 取り組み報告 伊東商高と交流

ト「エネフィブログ」に紹介記事を連載している。今年には二十社を取材した。発表に立った三年嶋岡小春さんは、印象に残った企業として一八七二（明治五）年創業の食用油脂製造販売「村松製油所」（西区）を挙げた。昨年、古民家を改装したレストランを開店したことを紹介し、「同じものを作り続けるだけでなく、新しいものを日々追求していることを知った」と話した。

伊東商業高の生徒は、ウィスコロナ時代の観光の在り方を考え、伊東市内の観光事業者の新型コロナウイルス対策を紹介する動画をネット上で公開している取り組みなどを発表した。

交流会は互いの学校を訪問し合って毎年実施していたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、昨年に続いてオンラインで開催した。

取材した企業を振り返る浜松湖北高の生徒たち―浜松市北区の同校で



浜松湖北高校生と伊東商業高校生がそれぞれの地元企業を取材し、魅力をブログ等で発信する授業も終盤に差し掛かり、活動の報告をする交流会がオンラインで開かれました。

高校生同士で交流をすることで、お互いの地域の産業や観光への理解を深められた交流会となりました。

高校生たちが書いた記事は高校生NEWSや、エネフィブログ等で掲載されていますので、ぜひご覧ください！

令和4年(2022年)1月15日(土)

中日新聞掲載

